

外国人による日本語弁論大会の概要

本大会は、外国人に日頃の日本語学習成果や日本の印象、提言等を発表する機会を提供するとともに、日本の皆さんに国際理解の場を提供する国際教育振興会の国際交流・異文化理解促進事業です。

- ・ 年1回、5月下旬から6月中旬の土曜日に開催される。
- ・ 予選を通過した外国人の出場者10～12人が本大会でスピーチを行う。
- ・ 中学・高校などの国際理解教育授業において教材として使われている。
- ・ 外務省、文化庁、NHK等後援。
- ・ 1960年に第1回大会が開催され、以来、2020年で第61回目となる。
- ・ 1998年からは国際交流基金、地方自治体、当振興会の3者共催となり地方都市にて開催される。
- ・ 2017年以降の開催（含む予定）は、以下の通り。
- ・ 2017年6月17日（土）つくば市（茨城県）ノバホールにて開催。（観客数約450人）
- ・ 2018年5月26日（土）壱岐市（長崎県）壱岐の島ホールにて開催。（観客数約710人）
- ・ 2019年6月1日（土）八戸市（青森県）八戸市公会堂にて開催。（観客数約900人）
- ・ 2020年6月13日（土）福山市（広島県）ふくやま芸術文化ホールにて開催予定でしたがコロナウィルス感染症拡大予防のため中止いたしました。
- ・ 2021年5月29日（土）佐賀市（佐賀県）佐賀市文化会館大ホールにて無観客にて開催
9月12日（土）午後2時～3時、NHK Eテレにて放送されました。

2023年開催都市募集について

開催をご検討の地方自治体におかれましては、以下にご連絡くださるようお願い申し上げます。開催における開催地の役割や経費分担例などをご説明いたします。

〔主催者役割分担例〕

- ・ 開催地：開催会場手配、開催地での広報・後援／協賛団体依頼、観客動員、会場運営
- ・ 振興会：応募者募集、全国的な広報・後援／協賛団体依頼、出場者関連手配、審査、舞台運営
- ・ 交流基金：全国的な広報、審査

〔開催地決定までの流れ〕

- 1) 2022年11月末まで → 開催希望地より申請受付
- 2) 2022年12月中に → 国際交流基金、NHKと協議の上、開催地を内定。
- 2) 2023年2月末まで → 開催地および関係機関と調整の上、開催地・開催日を決定。

〔連絡先〕 一般財団法人国際教育振興会 公益事業部
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2-3F
TEL:03-3359-9620 FAX:03-33359-0562
E-mail:benron@iec-nichibei.or.jp

外国人による日本語弁論大会共催申請書

年 月 日

催 事 名	第 63 回外国人による日本語弁論大会	
開催希望日	2023 年 6 月以降 11 月初旬のいずれかの土曜日（8 月を除く） 実施可能日を複数日（2～3 日程度）希望順に下記にご記入ください。	
	①	②
共催申請者	団体名	
	代表者名 役 職	
	住 所	〒
	担当部署名	
	担当者名 役 職	
	電 話	
	E-mail	
会 場	名 称	
	住 所	
	会場概要（客席数、特徴等） （会場が未定の場合は候補となる会場名をご記入ください。）	
その他・ 特記事項	周年行事、同時に開催されるイベント、フェスティバル等、冠にできる行事等がございましたら ご記入ください。	

提出先：〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-2-3F 一般財団法人国際教育振興会 公益事業部
TEL:03-3359-9620 FAX:03-3353-0562 E-mail:benron@iec-nichibei.or.jp